

訂 正 箇 所	誤	正
第 5 章 p.102 (4)	F 値が 1 よりも大きいほど、説明変数の効果があるとみなす。	F 値がより大きいほど、説明変数の効果がよりあるとみなすことができる。
同上 式 (5.10) の次の行	F の棄却域は、	危険率 α の確率で、説明変数の効果があるとみなすことができる F の棄却域は、
第 7 章 p.142 6～7 行目	自己所有の家を持っている比率	自己所有の家を持っている世帯の比率
p.143 注 2	生態学的誤謬	生態学的誤謬 (生態学的相関)
p.144 9 行目	変数 X と Y とともに	変数 X と Y とともに
p.152 14 行目	後で示すように (図 7.12)	後で示すように (表 7.1)
p.159 最終行	用いることもできる。	用いることもある。
p.160 練習問題(2) の冒頭 (語句追加)	1,000 世帯あたりの	都道府県ごとの 1,000 世帯あたりの
索引 p.346	生態学的誤謬.....143 生態学的相関.....9	生態学的誤謬(生態学的相関)9, 143